

越谷市の水害の特徴

越谷市の流域

越谷市は中川・綾瀬川流域に位置しており、周囲を利根川、江戸川、荒川の大河川に囲まれ、市内には中川、大落古利根川、新方川、元荒川、綾瀬川の5本の一級河川が流れています。

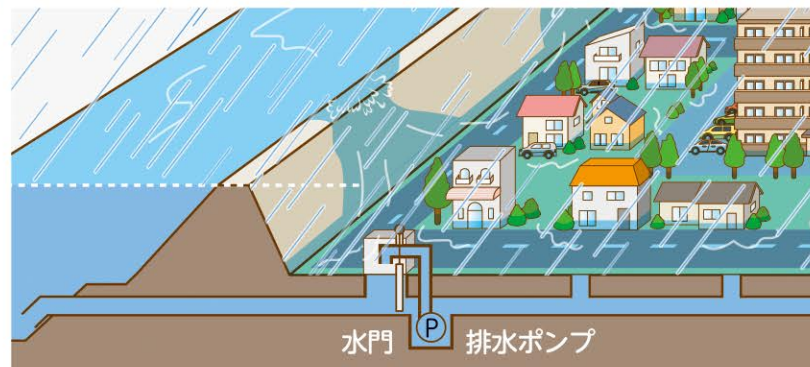


水害の仕組み

水害には外水はん濫と内水はん濫があります。越谷市の水害の多くは、内水はん濫によるものです。

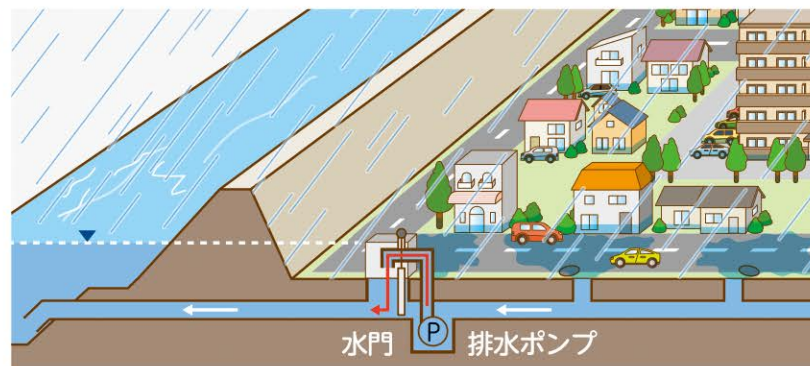
外水はん濫

外水はん濫とは、大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊することで、発生する水害です。起こったときには大きな被害になります。



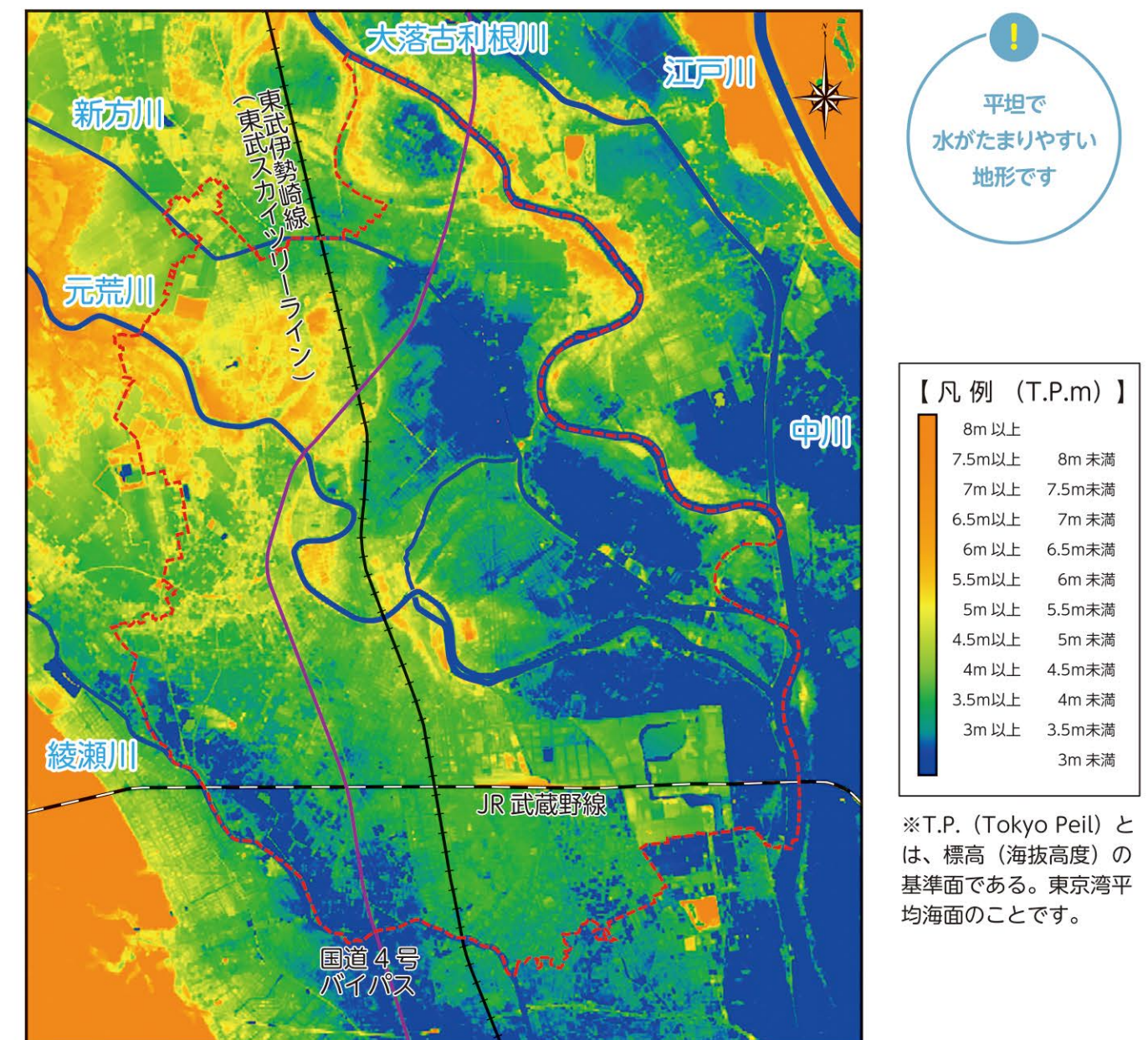
内水はん濫

内水はん濫とは、雨の量が水路などの排水施設の能力を超えたときや、排水ポンプによる排水能力が追いつかないときに雨水を排水できなくなり、発生する水害です。越谷市では起こりやすい水害です。



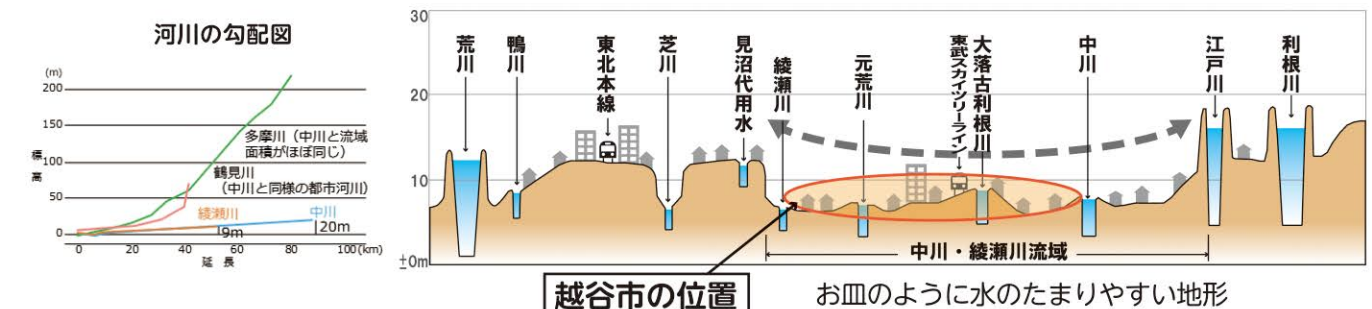
越谷市の地盤高

地盤の高さを色別に表示しています。高い所を橙色、低い所を青色で表現しており、市内の最も高い所と最も低い所の高低差が約5メートルしかなく、水が流れにくく、たまりやすい平坦な地形です。



流域河川の特徴

中川・綾瀬川流域は平坦で河川の勾配がゆるく、潮位の影響を受けるため、大雨が降ると水が流れにくく、長時間水位が高い状態が続きます。





この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を複製したものです。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R3Jh8）
洪水浸水想定区域は、国土交通省関東地方整備局が作成した想定最大規模降雨による「利根川水系利根川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）」
（公表年月日：平成29年7月20日）を使用したものです。